

実施日 2021年 3月 12日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			2020年5月以降、事務所が二階になり、活動室が一つ増えたため、活動が密にならないようにしている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準に基づいて配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		バリアフリーになっている部分となっていない部分がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			以前よりFacebook、インスタグラムに公開しているが、現在ではホームページにも掲載している。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		今年度は新型コロナウイルスで外部研修に行く機会が少なかった。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			必ず活動会議を毎月行っている。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日によっては外部講師に来て頂いているため、マンネリ化しないように講師も考えてくれている。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			新型コロナウイルスの感染予防を考え、以前より外出する活動が少なくなっているため、事業所内で3密を避け、一人ひとりの課題を基に支援を行っている。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	17	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		新型コロナウイルスにより、担当者会議等に出る機会がなかった。
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	21	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		卒業する子どもが障害者福祉サービスへ移行しなかったため情報提供はしないが、いつでも情報提供できる準備はできている。
	22	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		今年は新型コロナウイルスにより会議等がリモートであったりしたため、参加することができなかった。
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
保護者への説明責任等	24	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	25	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		出来るスタッフと出来ないスタッフの差がないようにスタッフ全員が支援できるように努めている。
	26	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	27	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページやFacebook、インスタグラムに公開している。また、一年間の記録としてアルバムを保護者に配布している。
	28	個人情報に十分注意しているか	○			
	29	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子ども一人ひとりに合わせた伝達方法等をスタッフ間で共有している。
	30	事故発生時、保護者への連絡を迅速にしているか	○			事故が起こった場合、速やかに保護者に連絡することができている。
その他	31	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2～3回子どもと一緒に火災・地震の避難訓練を実施している。
	32	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止に関する研修等に参加。虐待については、常に事業所内で1日の支援について、話している。困ったときはスタッフ全員で考えたり、行政に相談している。
	33	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束を行う行為はしない。また、事業所を施設することもないため、拘束というものには当てはまらないと考える。万が一、身体拘束が必要となった場合、説明・同意・計画書への記載は徹底する。
	34	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			非常勤の方へも周知し、事業所内で徹底している。
	35	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットが起こった際、全スタッフが目を通し、事業所内で徹底している。
	36	事故がおこった際、事故報告書等で事業所内で共有することができているか	○			報告書に全スタッフが目を通し、事業所内で徹底している。